



Taka Ishii

Gallery

Photography
/ Film

2F AXIS Bldg. 5-17-1
Roppongi Minato-ku
Tokyo Japan 106-0032
t +81 3 6432 9212
f +81 3 6432 9213
tigpf@takaishiigallery.com
www.takaishiigallery.com

細江 英公 Eikoh HOSOE

- 1933 山形県生まれ
- 1954 東京写真短期大学（現東京工芸大学）卒業
- 1959 東松照明、奈良原一高らとともに写真家集団・セルフ・エージェンシー「VIVO」を結成（61年に解散）
- 1974 「WORKSHOP 写真学校」の設立に参加
- 1975 東京写真大学短期大学部教授に就任
- 1981 日本写真家協会副会長に就任
- 1994 東京工芸大学芸術学部教授に就任
- 1995 清里フォトアートミュージアムの初代館長に就任
- 1998 東京工芸大学芸術学部及び大学院芸術学研究科（修士）課程教授に就任
- 2024 東京にて永眠

主な個展

- 2026 「細江英公 個展 抱擁」 YOD Gallery（東京）
- 2025 「Barakei – Ordeal by Roses」 Galerie Eric Mouchet Brussels（ブリュッセル、ベルギー）
- 2021 「細江英公の写真：暗箱のなかの劇場」 清里フォトアートミュージアム（山梨）
- 2018 「細江英公作品展 おとこと女」 JCII フォトサロン（東京）
「細江英公 芸術家たちの肖像」 Galerie LIBRAIRIE6+ シス書店（東京）
- 2017 「細江英公 個展」 YOD Gallery（大阪）
「細江英公写真展」 ときの忘れもの（東京）
- 2016 アート・アーカイヴ資料展 XIV 「鎌鼬美術館設立記念 KAMAITACHI と TASHIRO」 慶應義塾大学アート・スペース（東京）
「Ba-ra-kei」 Envoy Enterprises（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「Barakei – Ordeal by Roses」 Galerie Eric Mouchet（パリ、フランス）
- 2014 「Eikoh Hosoe: Corpus de Imagens」 Sesc Consolação（サンパウロ、ブラジル）
「鎌鼬」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
「薔薇刑」 YOD Gallery（大阪）
- 2013 「Eikoh Hosoe: Curated Body 1959-1970」 Miyako Yoshinaga Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

- 「人間ロダン」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 2011 「Eikoh Hosoe」CLAIRbyKahn（チューリッヒ、スイス）
- 「Eikoh Hosoe, Theatre of Memory」ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（シドニー、オーストラリア）
- 2010 「Estasi e Memorie」Galleria Carla Sozzani（ミラノ、イタリア）
- 「Eikoh Hosoe, Theatre of Memory, 20 S.」ケルン日本文化会館（ケルン、ドイツ）
- 「Eikoh Hosoe」Galerie Photo4（パリ、フランス）
- 2009 「細江英公写真絵本展 花泥棒」ギャラリー冬青（東京）[カタログ]
- 2008 「細江英公人間写真展 『抱擁』と『薔薇刑』」Gallery White Room Tokyo（東京）[カタログ]
- 2007 「英公細江写真展 薔薇刑」三菱地所アルティウム（福岡）
- 2006 「球体写真二元論 細江英公の世界」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 「屏風・掛軸 細江英公」ときの忘れもの（東京）[カタログ]
- 2000 「ルナ・ロッサ」モール（東京）
- 「細江英公の写真 1950-2000」山形美術館（山形、7月20日－8月20日）；その後 足利市立美術館（栃木、8月26日－10月1日）；渋谷区立松濤美術館（東京、12月12日－2001年1月28日）；釧路市立美術館（北海道、2001年4月21日－5月27日）；周南市美術博物館（山口、2001年6月8日－7月22日）；秋田市立千秋美術館（秋田、2001年9月7日－10月21日）；清里フォトアートミュージアム（山梨、2003年4月26日－10月5日）他へ巡回 [カタログ]
- 1996 「細江英公写真展」釧路ジスイズ（北海道）
- 1993 「細江英公・NUDE・新作展 夜明け前：世紀末にむかって」新宿 I.C.A.C.ウエストン・ギャラリー（東京）
- 「細江英公ーガウディの肉体」横浜タワーギャラリー（神奈川）
- 1990 「Eikoh Hosoe: Photographs 1951-1988」George R. Brown Convention Center（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）[カタログ]
- 「EIKOH HOSOE: META」Center for Creative Photography of the University of Arizona（ツーソン、アリゾナ州、アメリカ）；その後 1998年までアメリカ各地へ巡回 [カタログ]
- 1988 「写真・細江英公の世界展」20世紀美術館（静岡、6月1日－8月31日）；その後 新潟市美術館（新潟、9月15日－10月23日）；渋谷東急百貨店（東京、1989年4月21日－26日）；国立国際美術館（大阪、1989年6月10日－7月23日）へ巡回 [カタログ]
- 1986 「土方巽追想 鎌鼬 細江英公による写真劇場展」アスベスト館（東京）
- 「細江英公の写真 ガウディへの賛歌」プランタン銀座（東京、12月27日－1987年1月20日）；その後 阪急ナビオ美術館（大阪、1987年8月27日－9月15日）；ながの東急百貨店（長野、1987年11月27日－12月9日）へ巡回[カタログ]
- 1985 「細江英公 ガウディの宇宙 オリジナルカラープリント」銀座画廊春秋（東京）
- 1984 「薔薇刑」The Burden Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「EIKOH HOSOE」Forum Fotogaleria（タラゴーナ、スペイン）

- 「ガウディの宇宙」 プランタン銀座（東京）[カタログ]
- 「細江英公：禅と超越」 ミラノ現代美術館（ミラノ、イタリア）
- 1983 「Human Body」 Galerie Accent（パリ、フランス）
- 「Eikoh Hosoe: Killed by Roses」 National Gallery of Canada（オタワ、カナダ、2月12日－4月7日）；その後 Gallery Stratford（ストラットフォード、オンタリオ州、カナダ、1月6日－2月5日）；Mendel Art Gallery of Saskatoon（サスカトゥーン、サスカチュワン州、カナダ、1984年4月20日－6月3日）；Peter Whyte Gallery of Banff（バンフ、アルバータ州、カナダ、1984年10月23日－11月11日）へ巡回
- 「PHOTOGRAPHIES: eikoh hosoe」 Galerie Municipale du Chateau d'Eau（トゥールーズ、フランス）[カタログ]
- 「Recent Works」 Light Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 1982 「Eikoh Hosoe: The Human Figure: 1960-1980」 International Museum of Photography at George Eastman House（ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Eikoh Hosoe: Photographs 1960-80」 Rochester Institute of Technology（ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ、3月5日－4月5日）；その後 Susan Spiritus Gallery（ニューポートビーチ、カリフォルニア州、アメリカ、9月25日－）へ巡回[カタログ]
- 「Eikoh Hosoe: Kamaitachi and Selected Photographic Books」 Visual Studies Workshop（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「現代の長老・財界の35人」 富士フォトサロン銀座（東京、8月6日－12日）；その後 富士フォトサロン（大阪、10月22日－28日）へ巡回
- 「細江英公展」 長崎屋桐生店（群馬）
- 1981 「Eikoh Hosoe: Retrospective with the Recent Works」 Galerie Paule Pia（アントワープ、ベルギー）
- 1980 「Ordeal by Roses and Kamaitachi: 50 Photographies noir et blanc」 FNAC Forum（パリ、フランス、5月20日－6月5日）；その後 Galerie Paule Pia（アントワープ、ベルギー）；Nikon Gallery（チューリッヒ、スイス）；Photo Art（バーゼル、スイス）へ巡回
- 1979 「EIKOH HOSOE: Fotografie」 Meierhof von Schloß Leopoldskron（ザルツブルク、オーストリア）；Salzburg College Gallery（ザルツブルク、オーストリア）
- 「Eikoh Hosoe: Kamaitachi」 Silver Image Gallery（シアトル、ワシントン州、アメリカ）；The Ohio State University（コロンバス、オハイオ州、アメリカ）；その後 Studiengalerie des Salzburg College（ザルツブルク、オーストリア、8月－）；Portfolio Gallery（ローザンヌ、スイス）へ巡回
- 1978 「Eikoh Hosoe」 Susan Spiritus Gallery（ニューポートビーチ、カリフォルニア州、アメリカ）
- 1977 「ガウディ」 銀座ニコンサロン（東京、5月31日－6月5日）；その後 新宿ニコンサロン（東京、6月7日－13日；大阪ニコンサロン（大阪、7月1日－13日）へ巡回
- 1976 「Eikoh Hosoe」 Friends of Photography（カーメル・バイ・ザ・シー、カリフォルニア州、アメリカ）

- 1975 「Simmon: A Private Landscape」 Light Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、
5月25日ー7月31日) ; その後 Spectrum Gallery (バルセロナ、スペイン) へ巡回
- 1974 「Eikoh Hosoe」 International Culture Center (アントワープ、ベルギー) ; その後 Fotogalerie
Fiolet (アムステルダム、オランダ) へ巡回
- 1973 「Eikoh Hosoe」 Light Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 1971 「細江英公展」銀座画廊春秋 (東京)
- 1970 「Eikoh Hosoe」 Focus Gallery (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)
- 1969 「Man and Woman」 Smithsonian Institution (ワシントン D.C.、アメリカ)
- 1968 「とてつもなく悲劇的な喜劇 日本の舞踏家 天才<土方巽>主演写真劇場」銀座ニコンサロン
(東京) [カタログ]
- 1960 「おとこと女」小西六フォトギャラリー (東京)
「土方巽に捧げる細江英公写真展」東京月光ギャラリー (東京)
- 1956 「細江英公写真展 フォトストーリー 東京のアメリカ娘」小西六フォトギャラリー (東京)

主なグループ展

- 2026 「細江英公と土門拳」土門拳写真美術館 (山形)
- 2025 「森山大道 | 細江英公」和田画廊 (東京)
「Since Nadja 僕の私的回想のナジャ — Night in Shinjuku late '60s to '70s」児嶋画廊
(東京)
「黒白 vol.3 - Black and White - Noir et Blanc」児嶋画廊 (東京)
- 2024 「Material provocativo para pensar. Fotografía japonesa contemporánea. Colección José Luis
Soler Vila」Museo Carmen Thyssen Málaga (マラガ、スペイン)
「OKASHI」Michael Hoppen Gallery (ロンドン、イギリス)
「#59 Yōjo - Jeremy Stigter & the IBASHO Collection」IBASHO Gallery (アントワープ、
ベルギー)
「The Hong Kong Jockey Club Series: Noir & Blanc—A Story of Photography」M+ (香港、
中国)
- 2023 「Group Show」Akio Nagasawa Gallery Ginza (東京)
- 2022 「黒白 - Kokubyaku: Black and White」児嶋画廊 (東京)
「OKETA COLLECTION 「YES YOU CAN -アートからみる生きる力-」」WHAT MUSEUM
(東京)
「Earth: A Retrospective」Bombas Gens Centre d'Art (バレンシア、スペイン)
「Places of Longing」Ostlicht Gallery for Photography (ウィーン、オーストリア)
「Earth: A Retrospective」Bombas Gens Centre d'Art (バレンシア、スペイン)
- 2021 「Clandestine – The Photo Collection of Pedro Slim」コブラ近代美術館

- (アムステルフェーン、オランダ)
- 2020 「Masters of Japanese Photography」 IBASHO Gallery (アントワープ、ベルギー)
- 「BOTANICALS」 Bombas Gens Centre d'art (バレンシア、スペイン)
- 「Der-Horng Autumn Photo Show」 Der-Horng Art Gallery (台南、台湾)
- 「Summertime」 Ostlicht Gallery for Photography (ウィーン、オーストリア)
- 「The Sky as a Studio. Yves Klein and his contemporaries」 Centre Pompidou-Metz (メッス、フランス)
- 「Golden Age: Five Masters of Japanese Photography」 Three Shadows Photography Art Centre (北京、中国)
- 「Sweet Somethings」 Robert Mann Gallery [オンライン展覧会]
- 2019 「DÉCLICS ANALOGIQUES」 CLAIRbyKahn (チューリッヒ、スイス)
- 「Eikoh Hosoe: Collaborations with Tatsumi Hijikata」 Nonaka-Hill (ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ)
- 「The Gaze of Things: Japanese Photography in the Context of Provoke」 Bombas Gens Centre d'art (バレンシア、スペイン、2019年2月22日-2020年2月2日) ; その後 Circulo de Bellas Artes (マドリード、スペイン、2020年7月3日-8月30日) へ巡回[カタログ]
- 2018 「清里フォトアートミュージアム収蔵作品展 原点を、永遠に。-2018-」 東京都写真美術館 (東京)
- 「グループ展」 Akio Nagasawa Gallery Ginza (東京)
- 「Time Frames: Contemporary East Asian Photography」 The Baltimore Museum of Art (ボルチモア、メリーランド州、アメリカ) [カタログ]
- 「建築 x 写真 このみに在る光」 東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
- 「Shashin: are-bure-boke」 Michael Hoppen Gallery (ロンドン、イギリス)
- 「Celebrating the spring!!!」 CLAIRbyKahn (チューリッヒ、スイス)
- 2017 「MÉMOIRE ET LUMIÈRE: PHOTOGRAPHIE JAPONAISE, 1950-2000」 Maison européenne de la photographie (パリ、フランス)
- 「Japan-ness. Architecture and urbanism in Japan since 1945」 Centre Pompidou-Metz (メッス、フランス) [カタログ]
- 「Japanorama. New vision on art since 1970」 Centre Pompidou-Metz (メッス、フランス) [カタログ]
- 2016 「Provoke: Photography in Japan between Protest and Performance, 1960-1975」 Albertina (ウィーン、オーストリア、1月29日-5月8日) ; その後 Fotomuseum Winterthur (チューリッヒ、スイス、6月4日-8月28日) ; Le Bal (パリ、フランス、9月14日-12月11日) ; The Art Institute of Chicago (シカゴ、イリノイ州、アメリカ、1月28日-2017年5月5日) へ巡回[カタログ]
- 「Performing for the Camera」 Tate Modern (ロンドン、イギリス) [カタログ]

- 「四谷シモン+細江英公、沢渡朔、加納典明」 Akio Nagasawa Gallery Ginza（東京）[カタログ]
- 「Japanese Photography from Postwar to Now」 San Francisco Museum of Modern Art（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）[カタログ]
- 「Performance/Documents」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 2015 「Up Close: Erotic Japanese Photography」 Hong Kong Contemporary Art Foundation（香港、中国）
- 「Another Language: 8 Japanese Photographers」 Les Rencontres d'Arles（アルル、フランス）[カタログ]
- 2014 「AKIO NAGASAWA Inaugural Exhibition」 Akio Nagasawa Ginza Gallery（東京）
- 2013 「ジャパニーズ・フォトグラフィー 戦後—現在」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 「アートがあればⅡ」 東京オペラシティアートギャラリー（東京）
- 「Shinonome Photo Festival 2013」 TOLOT / heuristic SHINONOME（東京）
- 「TOKYO 1970 by Japanese Photographers 9」 アルマーニ / 銀座タワー9階（東京）[カタログ]
- 2000 「四谷シモン—人形愛」 大分市美術館（大分、6月3日—7月16日）；その後 小田急美術館（東京、8月23日—9月10日）；宮城県美術館（宮城、11月3日—12月17日）；徳島県立近代美術館（徳島、2001年1月20日—3月11日）；札幌芸術の森美術館（北海道、2001年4月1日—5月27日）へ巡回[カタログ]
- 1999 「デモクラート 1951-1957 解放された戦後美術」 宮城県立美術館（宮城、5月2日—30日）；その後 和歌山県立近代美術館（和歌山、6月8日—7月11日）；埼玉県立近代美術館（埼玉、8月21日—10月11日）へ巡回[カタログ]
- 1997 「美術と舞踏の土方巽展」 池田 20世紀美術館（静岡）
- 1996 「日本の写真—内なるかたち・外なるかたち 第2部 戦後写真の変容 1945-80展」 東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 1995 「戦後文化の軌跡 1945-1995」 目黒区美術館（東京、4月19日—6月4日）；その後 広島市現代美術館（広島、6月14日—7月21日）；兵庫県立近代美術館（兵庫、8月15日—9月24日）；福岡県立美術館（福岡、10月8日—11月5日）へ巡回[カタログ]
- 「東京国立近代美術館と写真 1953-1995」 東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）[カタログ]
- 「澁澤龍彦画廊展」 日動画廊（東京）[カタログ]
- 1994 「戦後日本の前衛美術/Japanese Art After 1945: Scream Against The Sky」 横浜美術館（神奈川、2月5日—3月30日）；その後 Guggenheim Museum SoHo（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、9月14日—1995年1月8日）；San Francisco Museum of Modern Art（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ、1995年5月31日—8月27日）へ巡回[カタログ]

- 1993 「久保貞次郎と芸術家」 町田市立国際版画美術館（東京）[カタログ]
「時代をひらいた写真家たち 1960—1970 年代」 東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 1992 「戦後写真と東北 2—原・日本風景への試論」 宮城県美術館（宮城）[カタログ]
- 1991 「土方巽展 風のメタモルフォーゼ(変容)」 秋田市立千秋美術館（秋田）[カタログ]
「日本写真の転換 1960 年代の表現」 東京都写真美術館（東京）[カタログ]
「Beyond Japan: A Photo Theatre」 Barbican Art Gallery（ロンドン）
「写真の 1955-65—自立した写真群—」 山口県立美術館（山口）[カタログ]
- 1990 「Japon-Années 60, Paris: Picto-Associ du Mois de la Photo」（パリ、フランス）
- 1989 「写真 150 年展—渡来から今日まで」 コニカプラザ（東京）[カタログ]
「土方巽とその周辺—闇と光のイコノロジー」 横浜市民ギャラリー（神奈川）[カタログ]
「写真と 150 年・54 Master Photographers of 1960-1979」 国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）[カタログ]
- 1987 「土方巽舞踏写真展—危機に立つ肉体」 渋谷パルコ Part 1（東京）[カタログ]
- 1986 「瑛九とその周辺」 埼玉県立近代美術館（埼玉、6 月 14 日—8 月 3 日）；その後 宮崎県総合博物館（宮崎、9 月 6 日—28 日）；和歌山県立近代美術館（和歌山、10 月 4 日—27 日）[カタログ]
- 1985 「ダイトランスファープリント展」 東京ナガセフォトサロン（東京、11 月 18 日—30 日）；その後 大阪ナガセフォトサロン（大阪、12 月 16 日—21 日）へ巡回
「Black Sun: The Eyes of Four」 Museum of Modern Art Oxford（オックスフォード、イギリス、12 月 8 日—1986 年 2 月 9 日）；その後 Serpentine Gallery（ロンドン、イギリス、1986 年 4 月 5 日—5 月 11 日）；Philadelphia Museum of Art（フィラデルフィア、ペンシルベニア州、アメリカ、1986 年 8 月 9 日—10 月 26 日）へ巡回[カタログ]
- 1984 「Die japanische Photographie」（ハンブルク、ドイツ）
- 1983 「Un regard sur l'art japonais d'aujourd'hui; 25 peintres, sculpteurs, ceramistes et photographes contemporains」 Musée Rath et Musée d'art et d'histoire de Genève（ジュネーヴ、スイス）
「New Perspectives on the Nude」 Fotogallery（ウェールズ、イギリス）
「Personal Choice: A Celebration of Twentieth Century Photographs」 Victoria and Albert Museum（ロンドン、イギリス）[カタログ]
- 1982 「International Photography 1920-80」 Australian National Gallery（キャンベラ、オーストラリア）
- 1981 「Astrazione e Realt」 Galleria Flaviana（ロカルノ、スイス）
- 1979 「Fotografia Giapponese dal 1848 ad Oggi (Japanese photography: Today and Its origin)」 Galleria d'art moderna（ボローニャ、イタリア、1 月—）；その後 Palazzo Reale（ミラノ、イタリア）；Palais des Beaux-Arts（ブリュッセル、ベルギー）；Institution of Contemporary Arts（ロンドン、イギリス）；Museum für Kunst und Gewerbe（ハンブルク、ドイツ）；Gemeente Museum（アルンヘム、オランダ）；Pulchri Studio（ハーグ、オランダ）へ巡回[カタログ]

- 1978 「VIVO: Six Japanese Photographers」 Santa Barbara Museum of Art（サンタバーバラ、カリフォルニア州、アメリカ、10月21日－11月26日）；その後 写大ギャラリー（東京、1981年9月21日－10月24日）へ巡回
- 1976 「写真売ります—12人の写真家による自選作品展」資生堂ザ・ギンザ（東京）
「Neue Fotografie aus Japan」Kunsthau Graz（グラーツ、オーストリア）
- 1975 「オリジナル・プリントによる5人の現代写真家連続個展」札幌ガレリアドキュメンタ（北海道）[カタログ]
「日本現代写真史展—終戦から昭和45年まで」池袋西武美術館（東京）
日本写真家協会創立25周年記念事業「ヌード25年」キャノンサロン（東京）
日本写真家協会創立25周年記念事業「人物写真25年」新宿ニコンサロン（東京）
- 1974 「New Japanese Photography」Museum of Modern Art（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）[カタログ]
「写真から写真へ」新宿マツグロツソ（東京）
- 1973 「瑛九とデモクラート展」梅田近代美術館（大阪）[カタログ]
- 1972 「10人の写真家による被写体四谷シモン展」新宿紀伊国屋画廊（東京）
- 1970 「三島由紀夫展」池袋東武百貨店（東京）[カタログ]
- 1967 「Photography in the Twentieth Century」Galerie Nationale du Canada（オタワ、カナダ）；
その後 1973年までカナダ内数箇所を巡回
- 1966 「現代写真の10人」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1963 「現代写真展 1961-62年」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1962 「写真展 NON」銀座松屋（東京）
- 1961 「現代写真展—1960」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1960 「現代写真展—1959」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1959 「第3回 10人の眼」小西六フォトギャラリー（東京）
- 1958 「第2回 10人の眼」小西六フォトギャラリー（東京）
- 1957 「第1回 10人の眼」小西六フォトギャラリー（東京）
- 1954 「第3回 デモクラート美術展」丸善画廊（東京）
- 1953 「第2回 デモクラート美術展」丸善画廊（東京）

受賞歴

- 2017 旭日重光章
- 2010 文化功労者顕彰
- 2008 毎日芸術賞
- 2007 旭日小綬章
- 2003 英国王立写真協会 特別勲章

- 1998 紫綬褒章
- 1970 芸術選奨文部大臣賞受賞（『鎌鼬』）
- 1963 日本写真批評家協会作家賞（『薔薇刑』）
- 1960 日本写真批評家協会新人賞（個展「おとこと女」）
- 1951 富士フォトコンテスト学生の部 最高賞（『ポーディちゃん』）

主な出版物

- 『鎌鼬 田代の土方巽』慶應義塾大学出版会、2016 年
- 『シモン 私風景』Akio Nagasawa Gallery、2012 年
- 『鎌鼬 普及版』青幻舎、2009 年
- 『薔薇刑 完全復刻版』ナディッフ、2008 年
- 『球体写真二元論 私の写真哲学』窓社、2006 年
- 『鎌鼬 復刻版』青幻舎、2005 年
- 『ざっくばらんに話そう 私の写真観』窓社、2005 年
- 『なんでもやってみよう 私の写真史』窓社、2005 年
- 『ルナ・ロッサ 細江英公の写真絵本[妖精物語]』新潮社、2000 年
- 『たかちゃんとぼく』（文：ベティ・ジーン・リフトン）小学館、1997 年
- 『とんぼの本 写真の見方』（澤本徳美と共著）新潮社、1986 年
- 『A PLACE CALLED HIROSHIMA』講談社インターナショナル、1985 年
- 『Human Body』日本芸術出版社、1982 年
- 『抱擁 朝日ソノラマ写真選書 4』朝日ソノラマ、1977 年
- 『抱擁』写真評論社、1972 年
- 『新輯版 薔薇刑』集英社、1971 年
- 『鎌鼬』現代新潮社、1969 年
- 『おんな エロスの対話』（一村哲也・大倉舜二と共著）毎日新聞社、1969 年
- 『Why, Mother, Why?』（古田幸と共著）講談社インターナショナル、1965 年
- 『薔薇刑』集英社、1963 年
- 『おとこと女』カメラアート社、1961 年
- 『35 ミリ・スナップ』光画荘、1955 年

パブリック・コレクション

Albertina（ウィーン、オーストリア）

シカゴ美術館（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）

フランス国立図書館（パリ、フランス）

ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）

George Eastman Museum（ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ）

Hamburg Museum of Art（ハンブルク、ドイツ）

Hirshhorn Museum and Sculpture Garden（ワシントン D.C.、アメリカ）

清里フォトアートミュージアム（山梨）

ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

M+（香港、中国）

ヨーロッパ写真美術館（パリ、フランス）

Museum of Fine Arts（ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ）

ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）

ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

オーストラリア国立美術館（キャンベラ、オーストラリア）

カナダ国立美術館（オタワ、カナダ）

国立国際美術館（大阪）

京都国立近代美術館（京都）

東京国立近代美術館（東京）

J・ポール・ゲティ美術館（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）

Smithsonian Institution（ワシントン D.C.、アメリカ）

東京都写真美術館（東京）

東京工芸大学（東京）

ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン、イギリス）